

議事概要記録

開催日時	平成 29 年 4 月 15 日 (土) 15 : 00 ~ 17 : 30	開催場所	済生会和歌山病院 7 階 多目的ホール
会議種別	平成 29 年度 第 1 回理事会	議 長	畑 忠良
		書 記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、木下 博之、神藤 洋次、田中 規仁 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、稲垣 充也、久保 光史、湊 健、脇村 小津江 田原 靖子、山本 須美子、相根 弘史、瀧口 良重、17 名		
欠席者 <敬称略>		オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第 1 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ データ標準化 ⑥ 会誌編集 ⑦ ホームページ ⑧ 会報 ⑨ 月例行事予定表 ⑩ 和歌山支部連盟 7. その他 和歌山県医学検査学会進捗報告 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年度総会議案書 (案) について 		
	決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・畑副会長より開会宣言があった。 冒頭、竹中会長より挨拶があった。現体制で 2 年目に入り、昨年より一層、和臨技会員に有益な事業を行っていきたいと開会の挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告 日臨技関連</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 3 月 25 日 (土) 日臨技理事会に出席した。 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講状況で和歌山県は約 62% に留まっており受講率を上げるために広報していきたいと報告があった。 ② 日臨技認定制度で一般検査部門合格率が 27.6% と低く、今後、何らかの対策が必要であると報告があった。 	

- ③ 今後の日臨技医学検査学会（全国学会）が今年は、幕張メッセ、次回は浜松、次々回は下関で開催が決定したと報告があった。
- ④ 各ブロック学会（日臨技支部学会）の参加人数、演題数等の比較表より、あまり差異はなく開催されていると報告があった。
- ⑤ 日臨技常勤役員の報酬について報告があった。
- ⑥ 4月29日に日臨技理事会が開催されると報告があった。
- ⑦ 9月16日-17日検体採取講習会 和歌山技師会が担当で場所は大阪YMCA国際文化センターで行われるが、事前に視察が可能であり費用も日臨技が負担すると報告があった。

和臨技関連として

- ⑧ 4月22日に和臨技新入会オリエンテーションが開催されると報告があった。
- ⑨ 6月3日に和臨技総会が開催されると報告があった。

第1回常務理事会報告

- ① 日臨技e-ラーニングの説明会について
日臨技e-ラーニングが2017年夏頃より開始されるにあたり、和臨技会員に対して広報していく手段として、メーリングリスト及び學術部の各班長にも配布し広報していくと報告した。
- ② 第66回日本医学検査学会において特別企画としまして学会2日目の18日に公開水戸塾講師推薦について候補者なしと報告した。
- ③ 認知症対応力向上講習会 和歌山県開催時の担当者の選出について
日臨技主催の講習会Aを日赤医療センターの則藤技師が受講し、和歌山県下で講習会Bを開催する事が決まっており、サポートするために和臨技役員より選出すると報告した。
- ④ 平成29年度研究奨励金授与候補者の応募について
平成29年度藤田光一郎賞顕彰候補者の応募について候補者なしと報告した。
- ⑤ 平成29年定期総会時役員について
総会時役員（議長等）の人選は事務局一任で承認したと報告した。

事務局報告

- ① 広報用媒体「りんしょう犬さん（起き上がりこぼし）」の配布希望について
当会は2体を要望したと報告した。
- ② 平成29年度日本肝臓学会市民公開講座に後援依頼回答書を送付したと報告した。
- ③ 平成29年度賛助会員募集要項を53社に配布し、4月15日現在で13社も申し込みがあり、今後も広報するように依頼するように報告した。
- ④ 平成29年度事業における都道府県技師会への協力について、今後、各事業に対して担当理事を決めていくと報告した。
- ⑥ 認知症対応力向上講習会（日臨技主催の講習会A）を日赤医療センターの則藤技師が受講し、和歌山県下で講習会Bを開催するにあたり、和臨技役員より担当理事とサポート役を選出すると報告した。
- ⑦ 第3回WLCDE更新者講習会を山本理事が参加したと報告した。

認知症対応力向上講習会を和歌山県下（講習会B）で開催するにあたり、和臨技役員より担当理事として栗林理事、サポートを竹中会長、山本理事が選任され承

認された。

学術部報告

- ① 平成 29 年度研究班役員一覧と平成 29 年度勉強会予定が完成したと報告があった。
- ② 平成 29 年和臨技オリエンテーションで行う学術ミニレクチャーは生物化学分析班と微生物班が行うと報告があった。
- ③ 第 20 回学術部一泊合同研修会の開催日が平成 29 年 7 月 1 日・2 日に変更になり、開催場所はかんぼの宿 紀伊田辺、症例検討会は一般検査、輸血検査で、臨床講演 1 として「急性期医療と臨床検査」講師は是枝 大輔 医師（紀南病院）、臨床講演 2 として「地域医療と臨床検査」講師は多田 明良 医師（国保北山村診療所）の予定であると報告があった。

表彰委員会

平成28年度会長賞選考について審議結果より

演題名「石綿健康被害救済制度と石綿小体計測の現状について」

和歌山労災病院 田中 真理 技師の推薦があり承認した。

平成28年度学術奨励賞について審議結果より

演題名「カルシトシステムの使用経験

2nd 心房細動アブレーションにおいて多極マッピングカテーテルを使用した一症例」

日本赤十字社和歌山医療センター 嶋 清志技師の推薦があり承認した。

平成 28 年度新人賞について審議結果より

演題名「和歌山病院における Mycobacterium avium-intracellulare complex (MAC) の感受性成績の報告」

国立病院機構和歌山病院 小林 悠希技師の推薦があり承認した。

蓬台監事より、遠隔通信を利用した研修会についての質問があり、学術部長より現在は試験運用中であり、生涯教育の履修及び参加費は一切、徴収や申請はしてないと回答があった。

コミュニケーション事業

特になし

経理部報告

平成 28 年度の各事業が終了したものより、報告書と決算書の早期提出の要請があった。また平成 28 年度決算書は作成中であると報告があった。

各種委員会報告

公益事業活動

特になし

竹中会長より公益事業活動（和大祭など）を和歌山県病院協会に演題発表するのはいかがでしょうかと提案があった。

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

特になし

精度管理

- ① 平成 28 年度（第 29 回）和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査
精度管理合同報告会を平成 29 年 2 月 25 日に和歌山県勤労福祉会館 プラザホー
プ 2 階多目的ホールで開催されたと報告があった。また、今後の精度管理報告会
の開催内容について考察して行くと報告があった。
- ② 精度管理参加書と報告書（CD）は配布済とは報告があった、また次回より報告書
は和臨技ホームページからダウンロードで対応して行くと報告があった。
- ③ 次年度の精度管理事業スケジュールの報告があった。

事務局より平成 29 年度の日臨技助成事業より日臨技精度管理結果サポート事業助
成が始まり、日臨技サーベイにおいて「C・D」評価施設へのサポート事業として
和臨技精度管理委員及び研究班並びに基幹施設の技師が一緒になり、意見交換を行
うと定義され、和臨技より担当理事として久保理事が選出された。また、木下学術
部長、田中会計部長がサポートとして付く事で承認された。

田中会計部長より JAMT QC について質問があり、メリットはあるが使用するには有
料であり、和臨技では精度管理事業を無料で行っているため、導入コストが負担と
なり現在は使用しない方向と竹中会長より回答があった。

データ標準化

特になし

会誌編集

第 45 巻「会誌和臨技」投稿募集のお知らせと平成 29 年度会員の学術活動調査のお
願いを広報すると報告があった。

ホームページ

ライブラリー等をホームページに掲載する際は、容量を少なくする方向で継続審議
となった。

会報

次回発行の会報を校正終了後、印刷すると報告があった。

月例行事予定表

2017 年 7 月より会員に対して月間行事予定表をメーリングリストで配布する報告が
あった。

賛助会員には今まで通りのメール送付方法で月間行事予定表を配布すると承認され
た。

会員に周知する郵送資料は、毎月 20 日までに湊理事まで提出することで、各施設へ
紙ベースで発送することで承認された。

日本臨床検査技師連盟 和歌山県支部

連盟の今後の活動について報告があった。

第 37 回和歌山県医学検査学会

第 37 回和歌山県医学検査学会の決算報告があった。
第 38 回和歌山県医学検査学会
第 38 回和歌山県医学検査学会の予算案の提案があり承認された。

審議事項

平成 29 年度定時総会議案書（案）について
事務局より提案された議案書を校正し、メール会議にて再度校正し承認して行くこと
で確認された。

記録作成	平成 29 年 4 月 24 日	氏 名	神藤 洋次	提 出	平成 29 年 4 月 27 日
------	------------------	-----	-------	-----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可